

19 ワシ・タカ類〈コンドル、オジロワシ、オオワシ、ハゲワシ、
イヌワシ、クマタカなど〉

- ア 和名：コンドル〈タカ目、コンドル科、コンドル属〉
英名：Andean condor
学名：*Vultur gryphus*
分布：ベネズエラからフェゴ島までの
アンデス



【コンドル】

(財)東京動物園協会提供

- イ 和名：オジロワシ〈タカ目、タカ科、オジロワシ属〉
英名：White-tailed sea-eagle
学名：*Haliaeetus albicilla*
分布：グリーンランド、アイスランド、
ロシア、シベリア、カムチャツカ、
冬期北海道



【オジロワシ】

- ウ 和名：オオワシ
英名：Steller's sea-eagle
学名：*Haliaeetus pelagicus*
分布：オホーツク海沿岸、
冬期は日本朝鮮半島



【オオワシ】

- エ 和名：クロハゲワシ〈ハゲワシ属〉
 英名：Eropean Black Vulture,
 Eurasian Black Vulture,
 Cinereous Vulture
 学名：*Aegypius monachus*
 分布：ヨーロッパ南部、中央アジア、
 チベット、モンゴル、中国東北部



【クロハゲワシ】

(財) 東京動物園協会提供

- オ 和名：イヌワシ〈イヌワシ属〉
 英名：Golden eagle
 学名：*Aquila chrysaetos*
 分布：ヨーロッパ、アフリカ北部、
 中近、シベリア、中国、
 カムチャツカ半島、朝鮮、
 日本、アラスカ、カナダ東部、
 アメリカ



【イヌワシ】

- カ 和名：クマタカ
 英名：Mountain Hawk-eagle
 学名：*Spizaetus nipalensis*



【クマタカ】

(財) 東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

ア コンドル

分布：南アメリカ（ベネズエラから Tierra del Fuego のアンデス山脈から海岸線に下りたペルーおよびチリー）

特徴：形態が雌雄で異なる。オスはトサカと首に大きな肉垂を有し、メスではない。羽の色は黒色であり、次列風切と雨覆は灰色がかった白色である。目立つ白色のひだ襟を持つ。頭部や頸の裸出した皮膚の色は、頸の基部は赤みを帯びた桃色で、頭部は多くの斑点がある灰色がかった桃色あるいは黄色である。幼鳥ははっきりしない茶褐色の羽色で、裸出した皮膚は黒っぽい。成鳥の羽色になるには、何年もかかる。

全長：100～130cm

体重：オス 11～15kg、メス 8～11kg

開翼長：320cm

習性等：

- ・食物は主にグアナコや家畜のような大型や中型の哺乳動物の死肉である。
- ・嘴が強いで死体の皮膚を引き裂き、筋肉や内臓を引き出すことができる。
- ・嘴に比較して、脚の爪は鋭くない。
- ・53年9ヶ月28日の飼育記録がある。

CITES I

イ オジロワシ

分布：グリーンランド、アイスランド、ヨーロッパ、中近東、中国（北部）、旧ソ連邦、シベリア、日本（北部）

特徴：白色の尾羽、黄色い嘴、頭や上頸は純白よりも淡い黄褐色である。羽根の残りの部分は、上部は白っぽく、雨覆や背中中は黄褐色で差異が少ない。尾羽は楔状である。平均してメスがオスよりも大きい。幼鳥は黒褐色で尾羽、頭頂、嘴、虹彩全てが黒っぽい。脇の下に白い斑がある。成長の羽根になるには5～6年以上であるが、尾羽は8年かかる。嘴は4～5年に黄色くなる。

全長：69～92cm

体重：オス 4,100g、メス 5,500g

開翼長：200～245cm

習性等：

- ・食性の幅が広く、魚類、鳥類、哺乳類である。
- ・29年4ヶ月10日の飼育記録がある。

CITES I

ウ オオワシ

分布：旧ソ連邦(Koryak 諸島からカムチャツカおよびサハリン) (→千島、日本（北部）、韓国—朝鮮半島(北部)

特徴：間違えようのない特徴があり、巨大で、白い肩羽と楔形の尾羽を有し、強く湾曲した黄色い嘴をしている。

全長：85～94cm

体重：4,900～9,000g

開翼長：200～250cm

習性等：

- ・主に魚食性である。
- ・39年以上の飼育記録がある。

CITES II

エ クロハゲワシ

分布：ヨーロッパ（南部）、アフリカ（モロッコ）、中近東、インド（北部）、中国（南部およびチベット）、モンゴル、旧ソ連邦(砂漠)→インドおよび中国

特徴：巨大な、幅広の翼を有するハゲワシで、わずかに楔形をした尾羽を有し、濃いスス色から黒色の羽色をしている。旧世界のハゲワシの中で最も大きい種類の一つである。黒色の裸出した頭部および頸部。

全長：98～107cm

体重：7,000～12,500g

開翼長：250～295cm

習性等：

- ・食性は中型から大型の死肉。まれに、トカゲやカメなどの生きた獲物を採食する。
- ・飼育期間 34年4ヶ月24日の記録がある。
- ・ハゲワシ属にはクロハゲワシのほか、ミミハゲワシ (*Lappet-faced*)、カオジロハ

ゲワシ (*White-headed Vulture*)、ミミハゲワシ (*Asiatic King Vulture*) がいる。
CITES II

オ イヌワシ

分布：ヨーロッパ（北部および南西部）、アフリカ（北部）、エジプト、アラビア、中近東、旧ソ連邦、シベリア、モンゴル、ヒマラヤ、中国（北部～南西部）、韓国・朝鮮半島、日本、北アメリカ（北部および西部）、中央アメリカ（メキシコ）に分布し、7亜種に分けられている。

特徴：羽色は均一な暗茶褐色であるが、頭頂、頸部および雨覆は淡い黄色身がかかった黄褐色である。メスのほうがオスよりも大きい。幼鳥は濃いチョコレートのような茶色で、特徴的な風切羽の白い基部を持つ。尾羽は基本的に白色で濃い末端の縞を有する。羽根の白い部分は4～5年以上で茶色に生え変わりですが、成鳥の羽色は6～8年かからない。

全長：79～90cm

体重：オス 2,840～4,550g、メス 3,630～6,665g

開翼長：190～227cm

習性等：

- ・食性は主にげっ歯類やアナウサギやノウサギなどの中型哺乳類である。
- ・サメイロイヌワシで40年3ヶ月17日の飼育記録がある。

CITES II

カ クマタカ

分布：日本、ヒマラヤ、中国（南部）、台湾、海南島、ビルマ、東南アジア（タイ）、インド（南西部）、スリランカ

特徴：大きく、強く、濃淡の規則正しい幅の縞模様をした尾羽を持つ。幼鳥は一般に淡色で白っぽい。日本のクマタカが最も大きく、短い冠羽を有する。

全長：67～86cm

体重：1,800～3,500g

開翼長：130～165cm

習性等：

- ・食性は小型から中型サイズの哺乳類、特にノウサギやキジなどの狩猟鳥である。
- ・飼育期間が26年11ヶ月16日という記録がある。

CITES II

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

猛禽類の取扱いに慣れている熟練者以外は、器具を使わない方法は避けたほうがよい。

B 器具を使用した保定法

止まり木に止まっている猛禽類を地面に下ろし、十分な大きさの玉網を頭からかぶせ、伏臥姿勢のまま地面に押さえつけ、玉網で全身を包むようにする。目隠しは全ての鳥類の保定に役立つので、玉網の上から猛禽類の目を遮光するように頭部を後から保持する。コンドルやハゲワシなど以外では、爪が玉網に納まりきれなければ、作業中にはタオルなどをつかませておく。

C 麻酔法

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、麻酔は必要ない。

D 特に注意すべき事項

コンドルやハゲワシなど以外の猛禽類は非常に鋭い嘴を有するため、全て作業に当たり、保定者は皮手袋・ヘルメットを装着する。爪でつかまれたら、爪を1本、1本離していかなければ、爪を離すことはできない。コンドルのオスは、起立する力が強いため、保定は3人以上を確保したほうがよい。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

頸部と躯体部背側の境界線の皮下（左側）に埋込む。

B マイクロチップ埋込みの実際

術部をイソジン綿か70%アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

皮膚を確実に露出して、マイクロチップを埋込む。特に、幼鳥は保定時に骨折することがあるため、骨が硬くなった6ヶ月以上が良い。